

# 成田空港周辺9市町の国家戦略特区区域指定提案に向けた検討業務 報告書

## 【当事業の概要】

### 1. 当PJの背景・目的

#### ➤ 背景

成田空港の機能強化の効果最大化するための周辺開発には、民間活力が必要不可欠なため、民間事業者が参入しやすい地域づくりに向け、規制緩和等の活用に向けた検討が求められている。

#### ➤ 目的

「地域の発展」と「空港の発展」が好循環する地域づくりを実現に向け、土地利用規制の弾力化や人材確保等に資する規制緩和の活用を行うため、“空港周辺9市町への国家戦略特区の拡大”を当PJの目的とし、検討を行った。

### 2. 当PJのスケジュール

来年度の国への提案を見据え、今年度を調査・検討フェーズとして位置付けた。

## 【国への提案に向けたストーリー案の作成】

### 3. 空港周辺9市町を区域指定する必要性の訴求

#### ➤ 空港機能強化にあわせた広域的な受け皿整備の必要性

成田空港の機能強化の効果最大化に向けた、従業員のための居住環境整備や旅客/貨物を誘引する環境整備は、地域全体で支えていく規模であるため、成田市以外の空港周辺市町にも国家戦略特区の指定を拡大する必要がある。

#### ➤ 地域と空港の発展が好循環する地域づくりを目指す枠組の存在

「成田空港圏自治体連絡協議会」や「地域振興連絡協議会」、「成田空港に関する四者協議会」といった、成田空港周辺9市町で「空港と地域の共生」や「地域振興」等について議論する枠組が既に構築されており、まずは、この枠組で空港の機能強化を支えていくことが重要となる。

#### ➤ 空港周辺地域のポテンシャルを最大化する均衡ある発展の実現

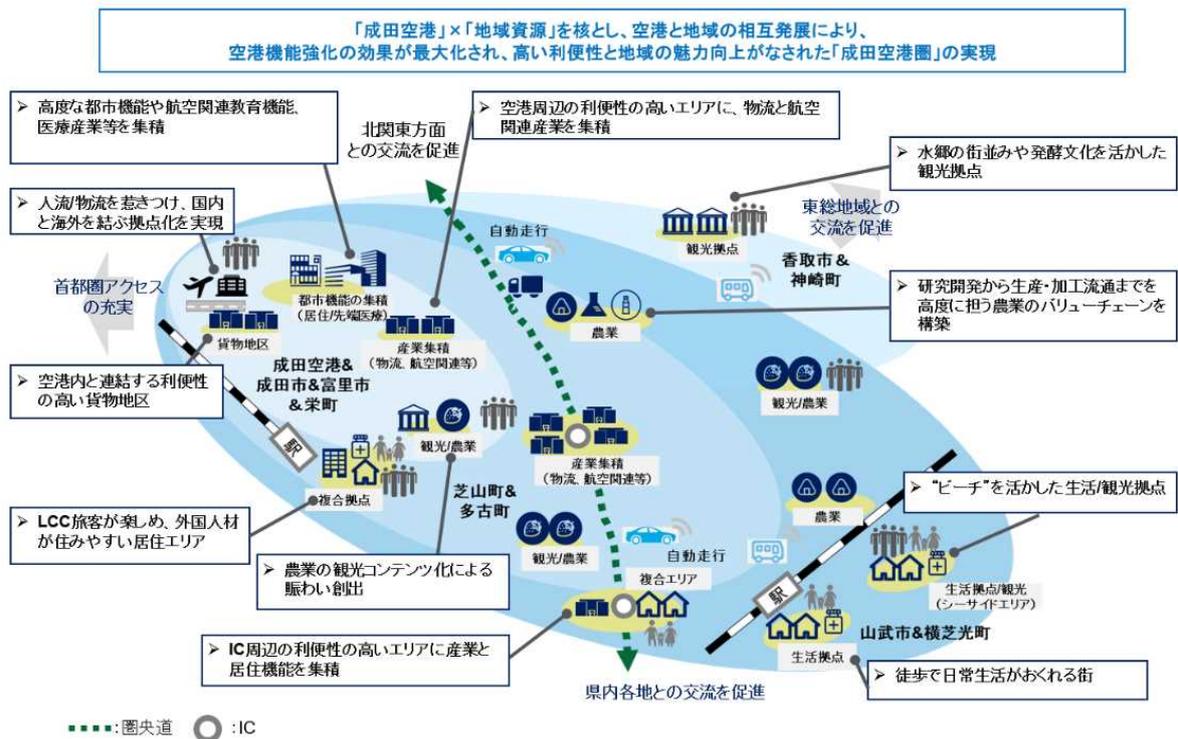
地域から空港周辺の均衡ある発展に課題を有することから、特定の地域のみが発展するのではなく、地域の魅力を有する市町が総合的に発展を遂げることで、玄関口たる国際空港の魅力を高め、日本の国際競争力を高めることにつながる。

#### 4. 空港機能強化により目指すべき姿の提示

“現状(地域が有する機能)”とあるべき姿(ヒアリングから導出したあるべき姿と中長期を見据えた技術展望を加味)から、空港機能強化の効果を最大化に資する“区域指定により目指すべき姿(イメージ)”を描いた。

#### <目指すべき姿イメージ>

区域指定により目指すべき姿



#### 5. 目指すべき姿実現に向け、検討・取り組むべき項目の整理

- 目指すべき姿実現に向けては、従業員の確保/旅客・貨物機能の最適化といった主要テーマ固有の課題の他、“開発をリードする主体の検討”や“民間企業を誘引する仕組構築”、“実現に向けた財源確保策”等への検討が必要である。
- “民間企業の誘引する仕組構築”には、空港周辺エリアの農地転換や空港関連従業員の確保等といった規制緩和の活用推進する“国家戦略特区”が一つの手段として有効と見做す。

## 【規制緩和の検討・具体化】

### 6. 規制緩和案検討に向けた考え方

「空港の機能強化を支えるためには規制緩和が必要」というストーリー上、“空港機能強化との連動性”や国家戦略特区区域指定を判断する“国の意思”を踏まえたテーマを検討する必要がある。



### 7. 規制緩和テーマについて

関連事業者へのヒアリングを踏まえ、土地利用の弾力化、外国人材の活用推進、農業の推進、公共交通の充実、最新技術の活用推進に資する規制緩和を検討した。

## 【現検討内容に対する内閣府の反応】

### 8. 検討内容の内閣府との調整

内閣府と打合せを行う中で、本検討内容について好意的な意見を得ている。

## 【次年度に向けたスケジュール案】

### 9. 次年度スケジュール

- 来年度の秋頃の国への提案を見据え、“規制緩和を活用した事業構想の具体化”や“事業者の掘り起こし”等を行う。
- 提案後は、“規制省庁からの回答への対応”や“事業者との調整”、個別自治体が活用したい既存の規制緩和活用推進支援や新規の規制緩和提案検討支援について実施する。